

# 背景 -企業の課題と資源-

## 企業の課題

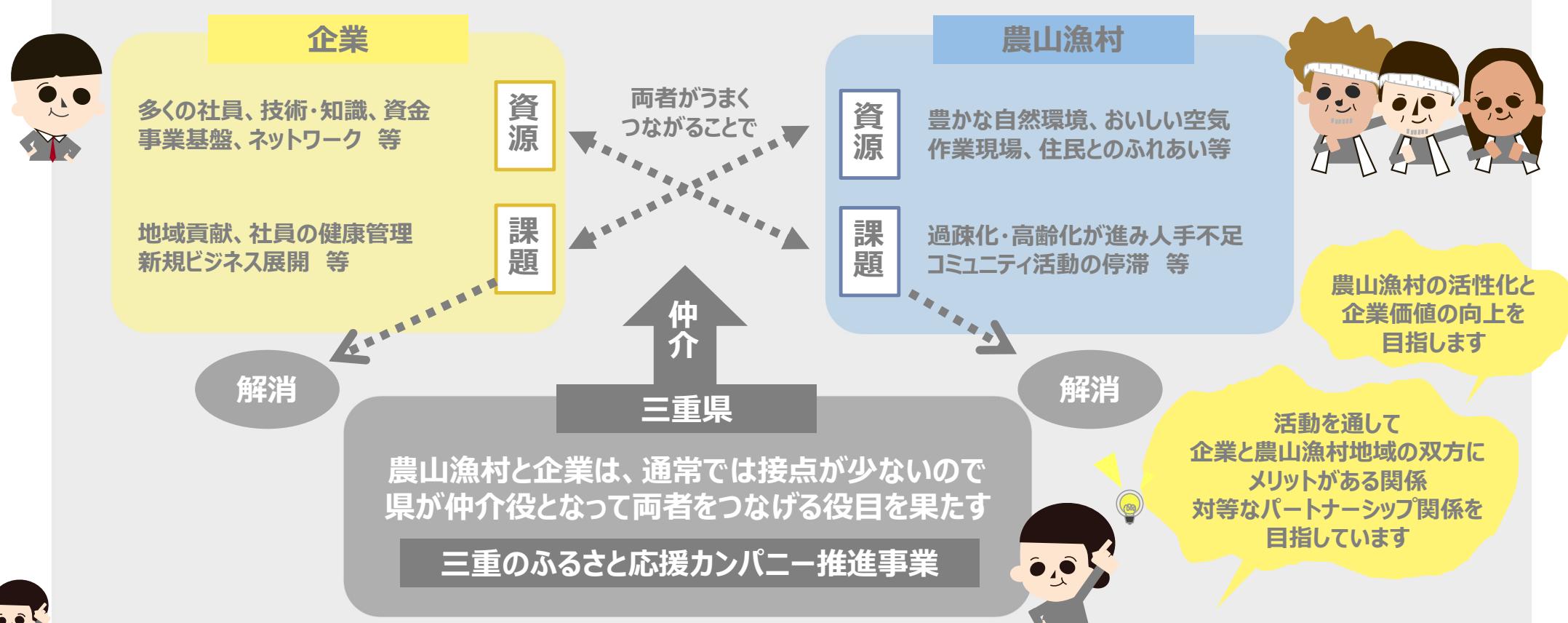
- ・社会貢献やSDGsへの貢献
- ・地域とのコミュニケーションが重要に
- ・社員の福利厚生が重要に
- ・社員の心のケアが重要に
- ・社員の士気向上が重要に
- ・新しいビジネス分野、新しい商品やサービスを開拓する必要が出てきた

## 企業の資源

- ・働き盛りの多くの社員
- ・社員が持つ多様なスキル、ノウハウ
- ・（個人に比べれば）豊富な資金
- ・会社設備や営業ツール、流通基盤
- ・会社内のネットワーク
- ・日本各地とのネットワーク

# 事業の目的 -農山漁村と企業を結ぶ新たなご縁づくり-

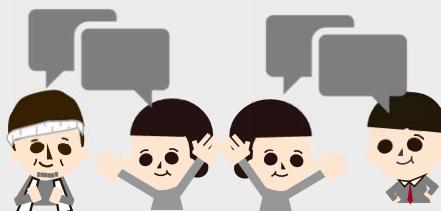
地域活性化を進めたい農山漁村地域と、社会貢献活動や新たな商品開発等に取組みたい企業をマッチングすることで、多様な主体が農山漁村地域を支えるような新しいご縁づくりに取組んでいます！



# 三重県のフォロー・支援体制 -マッチングを支える仕組み-

01

## 情報提供



企業と新たに関係を望む  
農山漁村地域を掘り起こし  
企業側の希望の条件に合う  
地域・組織を選定して  
企業へご提案します。

02

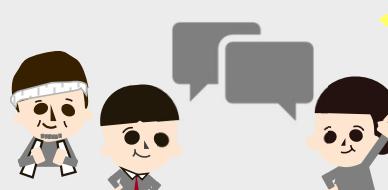
## マッチング支援



希望条件が合う  
企業と農山漁村地域の  
顔合わせから活動打合せ、  
第1回活動まで県が  
フォローして調整を進めます。

03

## 活動助言



活動の状況に応じて県が  
フォローします。  
活動実践にあたり市町など  
関係機関への連絡・調整や  
情報提供を行います。

04

## 取組紹介・PR



取組を県のホームページや  
各種広報媒体、  
イベントなどで  
広く情報発信を行います。

# 農山漁村・企業それぞれのメリット



**人材不足の解消**  
企業社員が地域活動に参加することで、農作業や地域行事の準備などコミュニティ活動に必要な人材を確保することができます。

**企業イメージの向上**  
地域の活動に積極的に参加することで地域に愛される企業として認められるとともに、企業イメージも向上させることができます。



**地域に元気が戻る**  
地域に若い人が入り込み住民と交流することで、農作業や地域行事の準備などコミュニティ活動に必要な人材を確保することができます。

**福利厚生の充実**  
地域の農作業等に参加したり、地域住民と交流機会を持つことで、社員のリフレッシュや癒し、モチベーション向上の効果を得ることができます。



**農林水産業の活性化**  
地域の農林水産物を企業が買い上げてくれることで、販売や価格が安定し、農林水産業が活性化します。企業ノウハウを活用して、新たな商品や販路を拓くことができます。

**売上・収益の拡大**  
地域の農林水産物や資源を活かして、競争力の高い高付加価値商品や新しいビジネス商品を開発することができ、売上・利益の拡大につなげることができます。

# マッチングの流れ -6つのステップ-

## STEP 01 » STEP 02 » STEP 03 » STEP 04 » STEP 05 » STEP 06

### 申し込み :



まず企業または農山漁村側からマッチング希望の申込を行います。  
(HPやお電話などで受け付けています)  
県が窓口となり、地域団体からの声掛けだけでなく、県が企業側に働きかけてマッチング希望先を発掘する場合もあります。

### ニーズの確認・



県担当者が双方の希望内容を詳しくヒアリングします。  
地域側の資源や活動内容、企業側のCSR・事業ニーズなど条件を整理し、マッチングの方針性を検討します。  
必要に応じて専門家の助言を得ることもあります。

### マッチングの



県立会いのもと、企業と地域担当者が直接会い、双方のニーズや提供可能な資源について話し合います。  
お互いの期待値をすり合わせ、協働活動のアイディアを練ります。

### マッチング成立



条件が合意に達した場合、企業と地域との間で協定書等を締結します。  
協働内容や役割分担、継続期間などを明文化し、連携の基盤とします  
(※条件が合わない場合は再マッチング検討)。

### 活動の実施 :



協定に基づき、実際の協働プロジェクトがスタートします。  
企業社員のボランティア参加、共同イベント開催、商品開発など具体的な活動を展開します。  
県も必要に応じフォローリーし、活動状況を把握します。

### 活動の見直し・ 発展 :



活動後に振り返りを行い、成果や課題を双方で共有します。  
改善点があれば次回活動に反映し、協働を深化させます。  
活動が成熟してくれれば、より本格的な事業展開や新たな取組へ発展させていきます。

# 農山漁村地域での検討STEP1 | 企業との連携・協働に向けた検討（取組内容）

## どのような活動や交流が可能ですか？

下記①～④の視点を踏まえて、企業などと一緒に活動できたら嬉しい活動を検討してみましょう！



### ①人手不足で困っていることはありませんか？

地域で、人手不足で困っている作業や高齢化で難しくなってきた作業の手伝いを、企業の地域貢献活動として実施してもらうことが可能です。

### ②使わない農地を活用してもよいと思いますか？

社員が参加して、農地を活用した稻や野菜の栽培、収穫などを行うことは、企業にとっては福利厚生活動等として位置づけることができ、有効です。

### ③企業側にもメリットがある内容ですか？

企業側にも、活動を通して何らかのメリットが感じられるような内容の方が企業側の姿勢も前向きになります。

### ④農山漁村地域側が負担するだけの関係になつていませんか？

受け入れる農山漁村側には、多少なりとも負担がかかることがありますので、無理のない範囲での活動にすることも大切です。

- 農作業支援  荒廃農地解消  鳥獣害対策支援  食品加工  空き家活用  草刈り  景観保全  販売支援
- 情報通信  買い物支援  移動支援  交流・体験  商品企画・開発  イベント企画  健康医療  デザイン
- 撮影  ICT活用  広報  業務改善  観光・旅行プラン  調査研究  講師  その他